

# 鋳工業

## 鋳工業生産の動き

平成26年の鋳工業生産指数の年平均は124.5（平成22年=100）で、対前年比8.9%の増加となりました。

これを業種別に対前年比で見ますと、情報通信機械工業206.0%、電子部品・デバイス工業27.8%、生産用機械工業22.0%、電気機械工業9.7%、はん用機械工業9.3%、化学工業8.5%、石油・石炭製品工業4.4%、プラスチック製品工業4.2%、窯業・土石製品工業2.2%、パルプ・紙・紙加工品工業1.2%、業務用機械工業0.6%、家具工業0.2%とそれぞれ上昇しました。一方、繊維工業△0.4%、食料品工業△0.8%、電力事業△1.1%、その他製品工業△1.2%、非鉄金属工業△1.3%、ゴム製品工業△1.6%、鋳業△3.4%、輸送機械工業△5.8%、鉄鋼業△7.2%、木材・木製品工業△8.6%、金属製品工業△26.6%とそれぞれ低下しました。

図22 鋳工業生産者製品在庫指数

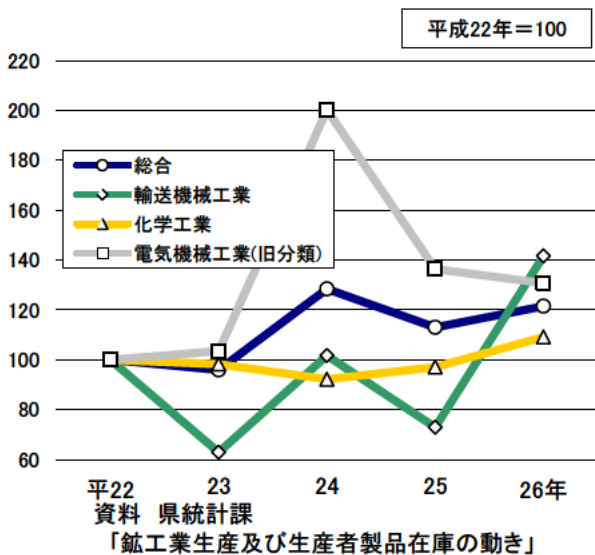
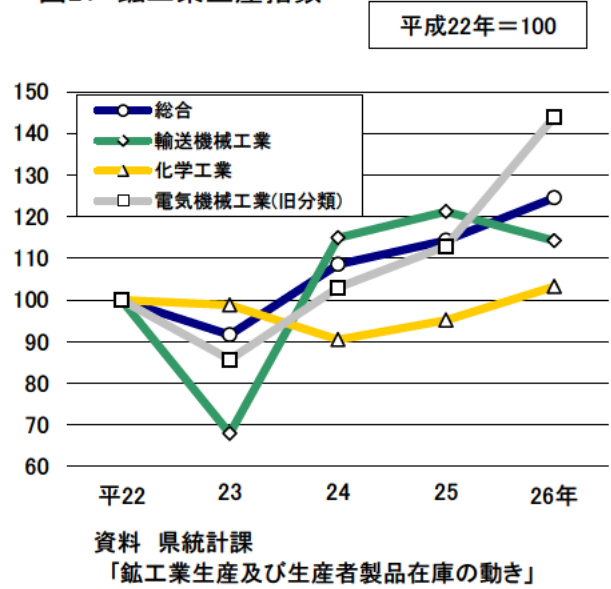


図21 鋳工業生産指数



また、平成26年鋳工業生産者製品在庫指数の年平均は121.5（平成22年=100）で、対前年比7.5%の増加となりました。

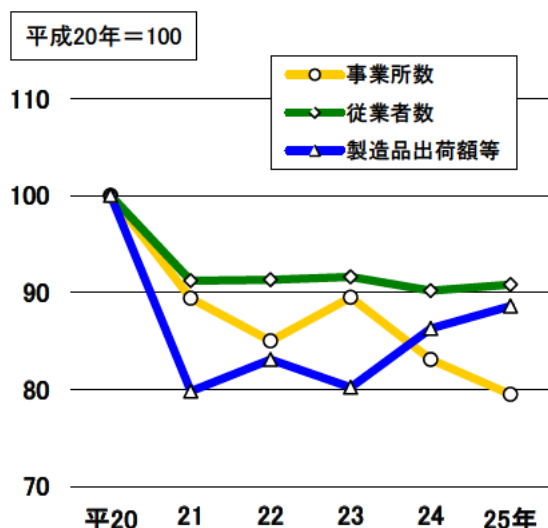
これを業種別に対前年比で見ますと、その他製品工業99.1%、輸送機械工業94.0%、家具工業27.5%、化学工業12.5%、非鉄金属工業7.0%、ゴム製品工業5.5%、食料品工業0.7%とそれぞれ上昇しました。一方、繊維工業△3.4%、電気機械工業（旧分類）△4.1%、プラスチック製品工業△6.3%、窯業・土石製品工業△8.5%、木材・木製品工業△10.7%、鉄鋼業△12.1%、はん用・生産用・業務用機械工業△13.0%、鋳業△14.4%、石油・石炭製品工業△17.9%、金属製品工業△19.2%、パルプ・紙・紙加工品工業△19.2%とそれぞれ低下しました。

## 平成25年工業統計調査結果

### (1) 概況

平成25年12月31日現在の事業所数は3,726事業所、従業者数は18万9,161人、製造品出荷額等は10兆4,092億円となっています。前年と比べると、事業所数は167事業所（4.3%）減少、従業者数は1,324人（0.7%）増加、製造品出荷額等は2,723億円（2.7%）増加しました。

図23 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移



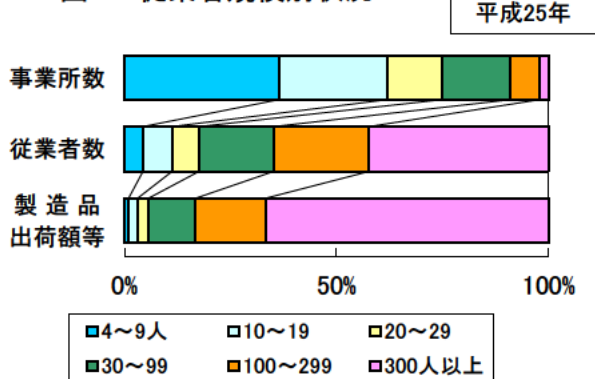
資料 県統計課「三重の工業」

(2) 従業者規模別にみた工業のすがた

平成25年12月31日現在の事業所数、従業者数及び平成25年の製造品出荷額等を従業者規模別で見ると、事業所は従業者規模の小さいものが大半で、従業者4～9人の小規模事業所が構成比で全体の36.4% (1,358事業所) を占めていますが、従業者数では全体の4.4% (8,404人)、製造品出荷額等では同1.0% (1,074億2,712万円) を占めているにすぎません。

これに対して、従業者300人以上の大規模事業所は構成比で2.1% (80事業所) ですが、従業者数では全体の42.3% (80,038人)、製造品出荷額等では同66.7% (6兆9,463億3,614万円) を占めています。

図24 従業者規模別状況



資料 県統計課「三重の工業」

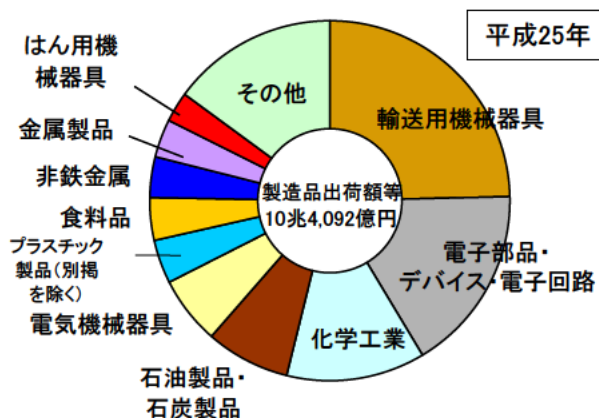
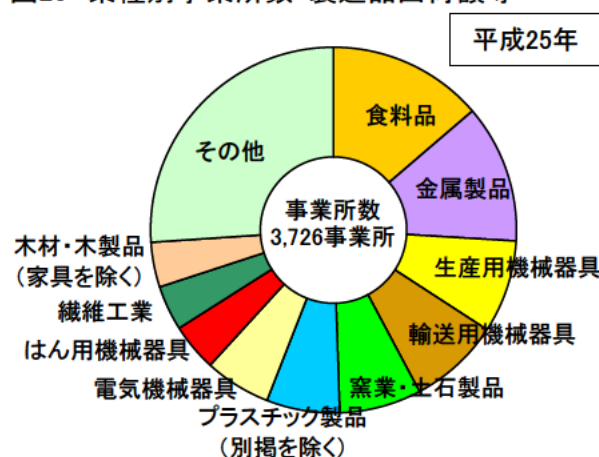
(3) 業種別にみた工業のすがた

事業所数では食料品製造業の占める割合が13.7% (511事業所) で最も高く、次いで金属製品製造業が12.2% (456事業所)、生産用機械器具製造業が8.2% (306事業所) などとなっています。

従業者数では、輸送用機械器具製造業20.5% (38,756人)、電子部品・デバイス・電子回路製造業9.9% (18,679人)、電機機械器具製造業8.5% (16,166人) などとなっています。

製造品出荷額等では、輸送用機械器具製造業が24.6% (2兆5,647億円) と最も高く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業が16.8% (1兆7,446億円)、化学工業12.5% (1兆2,973億円) などとなっています。

図25 業種別事業所数・製造品出荷額等



資料 県統計課「三重の工業」